

第35回

## 化粧品包装セミナー

日時 令和8年8月28日(金)

## 化粧品包装セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ(URL:<https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを使用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

主催：公益社団法人日本包装技術協会

## プログラム

時間	講演内容	講師
13:00 } 13:50	<p><b>化粧品・トイレットリー容器への人間工学的な設計の応用</b></p> <p>人間工学は、製品や環境がヒトを中心としてシステム化していると考えます。このシステムのパフォーマンスを増進し、最終的に利用者のウェルビーイングを高めることが人間工学の目的です。そのため人間工学が対象とすることは幅広く、ヒトの生理機能と、ハードウェアおよびそれを使う労働や生活の環境も含めて物や事の設計を行います。容器包装の使用性は、ヒトと物とのインタラクション(相互作用)の設計に他なりません。今、ヒトの筋力や認知特性を考えながら包装設計をすることが求められています。本講演では、ヒトの基本的な機能を紹介し、人間工学が容器包装の設計・デザインにどのように組み込まれているか、事例を交えて紹介します。</p>	<p>国立大学法人千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート 人間生活工学研究室・教授 <b>下村 義弘氏</b></p>
14:00 } 14:50	<p><b>激変する令和のモノづくりを牽引する、 オルビス デザイナーによる新たなQCD戦略</b></p> <p>激変する市場環境において、従来の開発プロセスを踏襲するだけでは、「本当に価値のあるデザイン」は生まれません。今、デザイナーに求められるのは、意匠の美しさだけでなく、QCD(クオリティ/コスト/デリバリー)の領域に自ら踏み込み、全体を最適化する「架け橋」となることです。</p> <p>本講演では、激変する市場にアジャストし、令和のモノづくりを勝ち抜くための「デザイナーの新たな役割」と実践的アプローチを、実例を交えて紐解きます。</p>	<p>オルビス株式会社 商品企画部 プロダクトデザイングループ グループマネジャー <b>小林 洋巳氏</b></p>
15:00 } 16:45	<p><b>欧州の容器包装に関わる法規制(PPWR)の近況について ～PCR材を考える～</b></p> <p>気候変動や資源枯渇、経済安全保障等の課題に対応するため、サーキュラーエコノミーの実現が世界各国で求められており、EUを中心に法制度の整備が進められています。EUでは、包装廃棄物の削減を目的として2025年2月に発効した「包装及び包装廃棄物規則(PPWR)」が本年8月より適用開始となります。</p> <p>本講演では、はじめにEUにおける「包装及び包装廃棄物規則(PPWR)」の概要をご紹介後、現状の各要件の議論状況についてご紹介します。また、ポストコンシューマーリサイクル材(PCR材)に関連する要件を中心に、日本・EUの現状を比較し、EUが目指す方向性に触れさせていただきます。最後に、これらの動向が日本企業に与える影響についての考察を述べさせていただきます。</p>	<p>みずほ総合研究所 (みずほ銀行内の組織) サステナビリティコンサルティング部 シニアコンサルタント <b>佐野 翔平氏</b></p> <p>サステナビリティコンサルティング部 シニアコンサルタント <b>中村 彩乃氏</b></p>

## 講師のご紹介

### 下村 義弘(シモムラ ヨシヒロ)氏

国立大学法人千葉大学

デザイン・リサーチ・インスティテュート人間生活工学研究室・教授

- ご略歴** 2000年 千葉大学大学院自然科学研究科博士(工学)  
2000年 千葉大学大学院自然科学研究科助手  
2004年 千葉大学フロンティア医工学センター兼務  
2007年 千葉大学大学院工学研究科准教授  
2015年 千葉大学教授

### 小林 洋巳(コバヤシ ヒロミ)氏

オルビス株式会社

商品企画部 プロダクトデザイングループ グループマネジャー

**ご略歴** 化粧品パッケージデザイナー。2007年ポーラ化成工業株式会社入社以来、約20年にわたりポーラ・オルビスグループのデザイン開発を牽引。2014年からオルビス株式会社所属。ブランドの象徴である『オルビスユー』シリーズや、『トクホ』と認められた飲む次世代スキンケア『オルビス ディフェンセラ』のデザイン開発に携わり、ブランド価値向上に貢献。現在は、デザイン開発の全体統括を行うとともに、4R環境対応とコストマネジメントの責任者も務める。「品質」「コスト」「デリバリー」をデザインで最適化する、戦略的な商品開発を担う。

### 佐野 翔平(サノ ショウヘイ)氏

みずほ総合研究所(みずほ銀行内の組織)

サステナビリティコンサルティング部 シニアコンサルタント

**ご略歴** 2020年、みずほ情報総研株式会社(現:みずほ総合研究所\*)入社。サーキュラーエコノミー(以下、CE)に関する国内外の政策動向及び民間動向等の知見を活かし、官公庁の政策立案支援、実証事業・社会実装に向けた検討支援・コンサルティングに従事。近年は、CE分野にとどまらず、サステナブル分野横断の複合的なサステナブル課題への対応支援も手掛ける。

\*みずほ総合研究所はみずほ銀行内の組織の名称

### 中村 彩乃(ナカムラ アヤノ)氏

みずほ総合研究所(みずほ銀行内の組織)

サステナビリティコンサルティング部 シニアコンサルタント

**ご略歴** 2021年 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社(現:みずほ総合研究所\*)入社。欧州における農業・食品関連政策に関する政策動向及び、バイオマスの利活用を含む民間動向等の調査・コンサルティングに従事。その他、サステナビリティ分野を中心とした企業の非財務面に関する取組の可視化支援(インパクト評価)に取り組む。

\*みずほ総合研究所はみずほ銀行内の組織の名称

## 開催要領

### ●日時：令和8年8月28日(金) 13:00~16:45

※Zoomを利用したオンラインセミナーです。

### ●定員：100名

### ●参加申し込み方法と注意事項

### ●参加費：

1名分参加費	会 員	一 般
本 体	9,000円	20,000円
消費税10%	900円	2,000円
税込合計	9,900円	22,000円

### 参加申込方法

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したのオンライン配信となります。  
お申し込みは当会ホームページの化粧品包装セミナー参加申込ページよりご登録下さい。  
**当会ホームページURL** : <https://www.jpi.or.jp/>
- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。  
(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

### 注 意 事 項

- 1「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- 2接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- 3本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- 4申し込みの際メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- 5開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第35回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

### ●お問い合わせ先●

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当：坂本

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03 (3543) 1189 FAX.03 (3543) 8970 e-mail : sakamoto@jpi.or.jp